

当社のDXに向けた取り組みについて



感謝と共に  
笑顔の明日を  
株式会社 三勢

# トップメッセージ: 変化を力に、未来を拓く

企業は、時代の変化に対応し、常に変化し続ける必要があります。当社の業務は労働集約型が主であり、現場のマンパワーが不可欠です。しかし、労働人口が減少の一途をたどる今、ヒューマンリソース不足が大きな課題です。そこで、ヒューマンリソースの活用を、お客様に喜びを与えるフロントヤード業務に特化させ、社内の事務業務、いわゆるバックヤード業務においては、デジタル化を推進して参ります。

また、ビルメンテナンス分野においては、ロボットの導入を進め、人とロボットによる清掃管理、スマートメンテナンスにも取り組んで参ります。

社員とその家族の幸せ、ビジネスパートナーとの協力関係のもと、お客様の喜びをお手伝いさせていただくにあたり、業務の効率化、人員不足の解消、生産性の向上を使命とします。私たちはDX（デジタルトランスフォーメーション）への挑戦を積極的に進め、最新の技術と人間の力を融合させ、より良い未来を築くために全力で努力し続けます。

株式会社三勢 代表取締役 福原浩倫



# DXが実現する私たちの未来像

私たちはDXを経営上の最重要課題と位置付け、競争力の強化と持続的な成長を実現するため、以下のビジョンを掲げます。



## 1. バックヤード業務の変革による価値創出

バックヤード業務のシステム化と一元管理を行い、事業の整合性やコミュニケーションを円滑化します。これにより、情報の漏れやミスを軽減し、業務全体の品質向上に寄与します。



## 2. テクノロジー活用による人手不足の解消

DXを通じて業務効率を向上させ、人手不足を緩和します。自動化や効率的なタスク管理により、人員をより付加価値の高い戦略的な業務へ配置します。



## 3. 従業員の成長と働きがいのある環境構築

煩雑な事務業務から解放された時間を、お客様との対話や新しいアイデア創出といった、人にしかできない付加価値の高い仕事に集中できる環境を整え、従業員の成長を促進します。

# DX戦略の全体像

## 1. 業務プロセスの最適化

勤怠管理、ワークフロー、作業報告書など、社内業務のデジタル化を徹底し、生産性を飛躍的に向上させます。

## 2. コミュニケーション基盤の強化

クラウドツールを活用し、社内外のステークホルダーとの迅速かつ円滑な情報共有を実現します。

## 3. データ活用の推進と新たな価値創造

社内に散在するデータを一元化・可視化し、データに基づいた意思決定を促進します。

## 4. 先端技術（生成AI等）の積極的な研究と導入

生成AIなどの新しい技術を積極的に業務に取り入れ、非連続な生産性向上と新たなサービス創出の可能性を追求します。

# 取り組み事例①: 勤怠管理DX 「キャスタイム」

**サマリー:** 従業員の打刻からシフト管理、各種申請、給与計算連携までを一元管理し、バックヤード業務の抜本的な効率化を目指しています。

## 主な取り組み内容:

- **目的:** 勤怠記録のCSV出力を通じた給与計算業務の効率化、ペーパーレスでのシフト・有給申請による管理工数の削減。
- **進捗と課題:**
  - 開発会社（ダイケン様）と連携し、給与ソフトと連携可能なデータ変換ツールを順次作成・導入。（一部現場から先行実施）
  - 打刻率9割を達成。課題は管理者側のシフト入力の効率化であり、AIを活用したシフト作成の実演・研究も開始。
- **今後の展開:** 成功モデルを他現場へ横展開し、2025年度中の完全移行を目指します。



# 取り組み事例②: 現場業務のデジタル化

タブレットやスマートフォンを活用し、現場での報告・点検業務を効率化。リアルタイムな情報共有と報告書作成の自動化を目指します。

## 1. インスペクション・環境整備点検のデジタル化

- ・**従来:** 印刷した紙の評価シートに手書きし、帰社後にExcelへ手入力で集計。
- ・**現在:** Googleスプレッドシートで帳票を作成。現場でタブレットから直接入力し、集計・計算を自動化。報告書作成時間を大幅に短縮。
- ・**課題:** 現場ごとの項目カスタマイズや、紙のような印刷レイアウトの実現に課題があり、次年度からの完全移行を目指し改良中。

## 2. 外部SaaSの積極活用検討

- ・内製化に固執せず、費用対効果を検証した上で、外部の優れたサービスや製品を積極的に導入する方針です。
- ・（例：建設事業部からの施工管理アプリ、清掃業務向け報告書作成アプリの導入検討）

# DXを推進する体制と人材育成

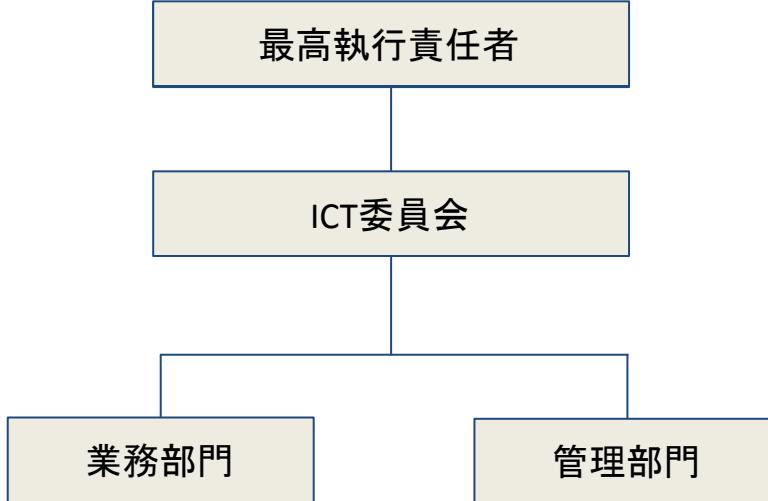
## 推進体制: ICT委員会

社長のリーダーシップのもと、部門横断のメンバーで構成されるDX推進の中核組織。

- ・**ミッション:** ISO委員会と協力したDX認定取得、生成AI（Gemini）の活用研究と導入。
- ・**活動:** 定期的な進捗会議、DXプログラムの企画・運営、新技術の評価  
・導入検討。

## 人材育成の取り組み

- ・全社DXプログラム（Looker Studio、Google Workspace研修）の実施し、社内のDX人材を育成。
- ・社内研修会でのナレッジ共有、生成AIの具体的な業務活用事例発表。



DX組織体制図



# DXを支えるITシステム・活用環境の整備

## 1. コミュニケーション基盤

Chatworkを全社的な公式コミュニケーションツールとして活用。情報共有の迅速化と円滑化を実現。予約投稿機能の活用なども推奨。

## 3. 情報資産のクラウド化

Google共有ドライブの活用。社内サーバーからの段階的なデータ移行を計画。フォルダ階層のルールを策定し、安全で効率的な共有を目指す。

## 2. グループウェアの刷新

J-MOTTOからGoogle Workspaceへ移行。全社員へのアカウント付与を推進し、メール、カレンダー、Meet等を活用してコラボレーションを促進。

## 4. ネットワークインフラの強化

Wi-Fi環境の全面刷新。本社内のWi-Fi環境を増強し、研修やリモートワーク時の通信安定性を確保。セキュリティを強化したネットワークを構築。

# 先端技術の活用: 生成AIによる業務革新

ICT委員会を中心に、生成AI（Google Gemini, NotebookLM等）の業務活用を積極的に研究・導入し、生産性向上と新たな価値創造に取り組んでいます。

## 具体的な活用事例:

- 資料作成の効率化:** 議事録ドラフト自動生成、提案書やチラシの文案作成、マニュアル作成の高速化。
- 情報収集・分析:** 大量PDFの要約・抽出、画像データからのテキスト抽出（OCR）、市場調査リスト作成。
- 専門知識の補助:** 複雑なExcel関数の解説、GASコード生成による定型業務の自動化。



# DX推進の達成度を測る指標（KPI）

デジタル技術の活用にあたり、2025年～2028年に向け、取り組みの達成度を測る以下の指標を設定し、継続的に進捗をモニタリングします。

指標項目	目標値
1. 社内チャットツール（Chatwork）の利用率	100%を維持
2. 正社員全員へのiPhone支給率	100%を維持
3. WEB会議システムの活用率（取引先との打ち合わせ・社内会議への参加）	50%を目指す
4. ペーパーレス化の推進（クラウドシステムの導入による）	20%削減
5. デジタル採用戦略（ソーシャルメディア（SNS）を中心に展開）	年間3名

# サイバーセキュリティに関する対策



## 基本方針

当社は、お客様からお預かりした情報資産および当社の情報資産を、事故・災害・犯罪などの脅威から守り、お客様ならびに社会の信頼に応えるべく、情報セキュリティに取り組みます。

## 主な対策

- PMSの運用:** プライバシーマーク（Pマーク）認証を取得しており、マネジメントシステムに基づき保護を徹底。
- 社内体制の整備:** 維持および改善のために組織を設置し、対策を社内の正式な規則として策定。
- 従業員への教育:** 情報セキュリティ研修や標的型攻撃メール訓練を毎年実施。
- 技術的対策:** ウイルス対策ソフト、ファイアウォール導入、外部媒体の利用制限など。

# DX推進ロードマップ: 現在地と未来への道筋

## Phase 1: 基盤構築

デジタル化の土作りと意識改革

- ICT委員会発足
- Google Workspaceへの移行開始
- 勤怠管理「キャスタイム」先行導入
- Wi-Fiインフラ強化

## Phase 2: 展開・最適化

2024-2025 / 定着

- 「キャスタイム」全社展開完了
- 点検業務の完全デジタル化
- 全社ポータルサイトの構築
- 生成AIの本格的な業務活用と横展開

## Phase 3: 変革・創造

2026～ / 新たな価値創造

- 全社データ基盤の構築とデータドリブン経営
- スマートメンテナンス（人とロボットの協働）の推進
- AIを活用した新サービスの開発



# 経営理念の実現に向けて

## 経営理念

私たち三勢は、共に働く人を財産とし、互いに磨き合う関係を築き、  
お客様の笑顔と喜びを求め、地域社会に貢献し、  
三勢に関わる全ての人たちの幸福を追求するため、

- 一. 夢目標を持ち
- 二. 心一つに一致団結し全社の総力をつぎこみ
- 三. 心・技・体・生活のバランスを保ち

常に変化成長し続けながら、広く社会に貢献する。

私たちのDXは、この経営理念をデジタル時代において実現するための挑戦です。  
これからも変化を恐れず、成長を続け、関わるすべての人々と共に、笑顔の明日を創造してまいります。

# 感謝と共に 笑顔の明日を

## 会社情報

### 株式会社 三勢

〒862-0924 熊本市中央区帯山3丁目8-44

TEL. 096-383-2341 / FAX. 096-383-2393

ウェブサイト: <https://www.bm-sansei.co.jp/>

